

わたしたちの 日本一 美しい村



広報

しらかわ

SHIRAKAWA

2011年 4月12日発行

第477号



「笑顔もピカピカ、新1年生」

(新・白川小入学式 4月6日)

4月号

新・白川小開校…2ページ

ありがとう白川小・平瀬小…3ページ

平成23年度当初予算…4ページ

議会だより…6ページ

若者の通勤就職者・高齢者の乗合バス利用費助成…14ページ

新入園・入学おめでとう…22ページ



the most beautiful
villages
in japan

新・白川小開校

全校児童119人でスタート



4月5日(火)新しい白川小の開校式が行われました。

式には、2年生から6年生までの児童や来賓、地域住民らが出席し、新しい学校の幕開けを祝いました。

山下華さん(6年生)に新しい校旗が手渡され、谷口村長は「村が発展するためには、文化力の向上が大切。この新しい学校が、文化力の向上に一役かってほしい」とあいさつ。上屋美千弘校長は、新校章の由来を説明し「朝日のように、強くまっすぐ堂々と学校生活をおくってほしい」と呼びかけました。



また、児童を代表して、旧平瀬小の坂下大哉君(6年生)が「今までの2つの学



校より素晴らしいものにしていくことが、僕たちの責任です。白川村の皆さんの、笑顔の源となるよう頑

張ります」と決意を語りました。

最後に、統合前から練習を重ねてきた新校歌を、全員で力強く歌い、新しい小学校での生活に胸を躍らせていました。

4月6日(水)は入学式が行われ、ピカピカのランドセルを背負った新入学生16名が、元気に登校しました。

式が行われた体育館では、保護者や在校生らが見守る中、大きな拍手で迎えられて入場。そして、担任の先生から一人ずつ名前を呼ばれると、緊張しながらも「はい」と元気に返事をし、小学生の間入りをしました。



ありがとう 白川小・平瀬小

両小学校は統合し、4月から新・白川小として、
新たな歴史を歩み始めました

白川小 閉校式

3月12日(土)在校生や歴代の校長・卒業生など、約200名が出席しました。

同校は、1947年(昭和22年)に「白川国民学校」から「白川小中学校」として誕生し、64年間で2038名の卒業生を送り出しました。

式では、児童を代表して石岡恵太君(6年生)が「北海道から転校してきた僕を、温かく迎え入れてくれた友達や先生。白川小での思い出は決



して忘れません」とあいさつしました。

この後、倉嘉宏教育委員長が、黒木斗希也君(6年生)から校旗の返納を受け、閉校を宣言。最後に出席者全員で校歌を斉唱し、思い出深い学校との別れを惜しみました。



平瀬小 最後の卒業式

3月24日(木)卒業式が行われ、最後の卒業生が思い出のつまった学びやを巣立ちました。

卒業を迎えたのは、新谷ひな子さん、大松実梨さん、小坂孝臣君、中森萌佳さん、東屋大貴君の5名。

式では、上屋美千弘校長が卒業証書を手渡し「最後の卒業生である皆さんの心と体には、平瀬小の伝統と歴史、愛着と誇りが宿っている。ここで学んだあきらめない心、助け合う心を持ち続け、立派な中学生になってほしい」と激励しました。

卒業生たちは、在校生23名に別れのあいさつを、見守り続けた保護者や先生にお礼の言葉を、涙ながらに述べました。会場は、卒業を祝う喜びと閉校の寂しさに包まれ、とても感動的な卒業式となりました。



平瀬小 閉校式

3月26日(土)在校生や歴代の校長・卒業生など、約260名が出席しました。

同校は、1875年(明治8年)に平瀬校仮分教場として創設されました。昭和30年代には、御母衣ダム工事に伴い、児童数が急激に増えたという記録も残っています。

式では、児童を代表して、5年生の坂次健太君と大野楓佳さんが「平瀬小で学んだことや伝統、そして、地域の方の優しさを忘れず、新白川小学校でもがんばります。心の平瀬小は消えませんが」と別れの言葉を述べました。また、2年生が平瀬の素敵などところを歌詞にした「平瀬



大すき」という曲を、児童全員で合唱しました。



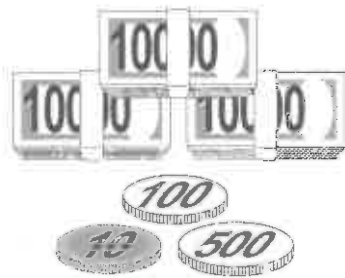
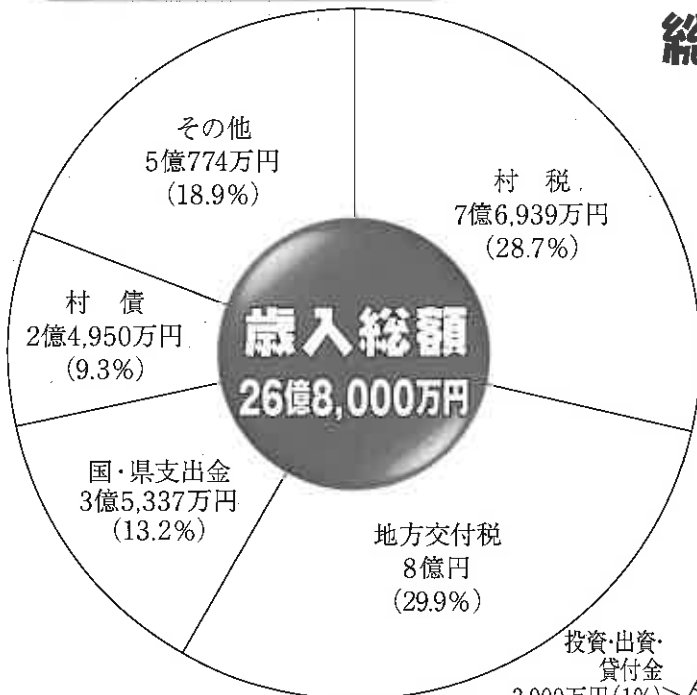
そして、6年生の東屋大貴君と大松実梨さんが、倉教育委員長へ校旗を返納。最後に出席者全員で校歌を斉唱し、136年の歴史に幕を閉じました。



白川村当初予算

グラフ1

一般会計歳入



全会計

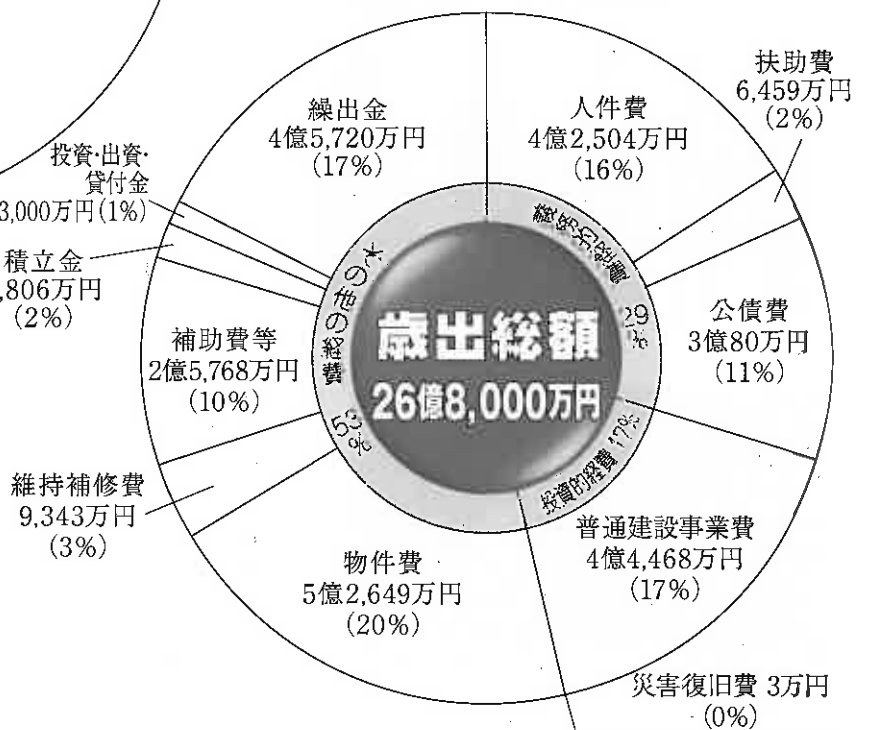
総額 **36億5,710万円**

前年度比6%の減

村の一般会計と特別会計（8会計10勘定）の新年度予算が3月14日（月）、村議会定例会で議決されました。村に入るお金と、その使い道について、詳しくお知らせします。

グラフ2

歳出性質別予算



規模 ■ 一般会計は前年度比

6・9%の減

一般会計の予算額は、前年度より2億円減額の26億8千万円になりました。歳入・歳出の内容については、グラフ1・2を参照ください。

特別会計の予算額は、3・4%減の9億7710万円になりました。各会計については、P5「特別会計予算額の推移」を参照ください。

よって、一般・特別会計の予算総額は、6%減の36億5710万円となりました。

◆一般会計・歳入■グラフ1

約29%を占める村税のうち最も大きなものは、発電施設等に係る大規模償却資産税で、4億6183万円が計上されています。地方交付税は、前年度より約10%増の8億円となり、村債は、統合小学校建設の終了等により、約44%減の2億4950万円となりました。

◆一般会計・歳出■グラフ2

これまで村の財政健全化に向けて進めてきました、予算前年度比10%削減を転換し、過疎化対策や高齢者福祉の充実を図るなど、広く予算配分を行いました。

経常的に支出しなければならぬ義務的経費は、前年より約2%増となりました。内訳としまして、公債費を8%減としましたが、若者等通勤就職者助成事業（180万円）及び、高齢者バス利用助成事業（151万円）を新設、子宮頸がんワクチン接種の無料化（194万円）や、子ども手当支給事業（3608万円）などにより、扶助費が約13%増となりました。

普通建設事業費のなかで大きなものは、荻町伝建地区保存事業（1億1767万円）、村道木谷稗田線改良事業（7千万円）、平瀬幹線舗装補修事業（4千万円）となっています。この他には、除雪関係事業費（1億円）、常備消防経費（9610万円）、白山林道管理一般経費（5911万円）、スクールバス車庫新築工事（2716万円）などとなっています。

また、安心安全な村づくりとして、各地で頻発する地震やゲリラ豪雨など、多種多様な災害に対して「白川村防災計画」の見直しを進めると共に、防災行政無線に関する調査設計費

平成23年度 おもな事業

総務費

公有財産台帳電子化整備業務委託経費	452万円
地域振興定住対策補助経費	400万円
旧芦倉分校校舎解体工事	228万円
若者等通勤就職者助成事業	180万円
廃校活用検討委員会支援事業	150万円

民生費

子ども手当支給事業	3,608万円
県単福祉医療費助成事業	941万円
生きがい活動支援通所事業	460万円
ホームヘルプサービス事業	340万円
人工透析移動支援事業	294万円

衛生費

塵芥処理経費	1,935万円
久美愛厚生病院移転新築施設整備負担金	1,000万円
し尿処理経費	908万円
住民健康診査事業	758万円
筋力トレーニング事業	460万円

農林水産業費

白山林道管理一般経費	5,911万円
地域資源活用総合交流促進施設整備事業	2,526万円
森林整備加速化・林業再生事業	1,178万円
花街道・花いっぱい運動推進事業	990万円
中山間地域農村活性化総合事業	750万円

商工費

せせらぎ公園管理事業	6,993万円
商工振興資金預託金	3,000万円
観光パンフレット等作成事業	954万円
観光DVD製作事業	933万円
合掌家屋根葺替事業補助(伝建地区以外)	630万円

土木費

除雪関係事業	10,000万円
村道木谷稗田線改良事業	7,000万円
平瀬幹線舗装補修事業	4,000万円
村道鳩谷馬狩線法面改修事業	3,000万円
村道荻町下ゴソ線法面保護工事	1,700万円

消防費

常備消防経費	9,610万円
--------	---------

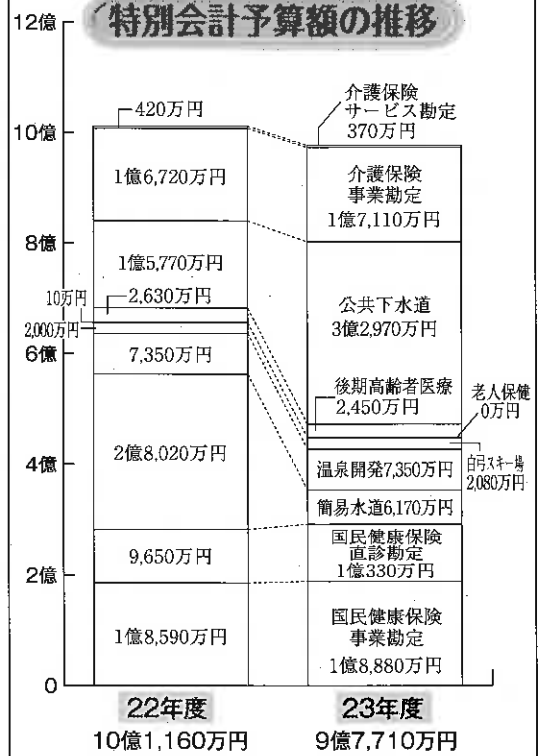
教育費

重要伝統的建造物群保存地区保存事業	11,767万円
合掌造り保存財団補助事業(総額)	3,510万円
スクールバス車庫新築工事	2,716万円
児童生徒輸送経費	1,245万円
中学生海外研修補助事業(豪州2/3補助)	705万円

歳出目的別予算額

款	当初予算	構成比	対前年度増減額
議会費	3,616万円	1.3%	1,009万円
総務費	2億6,808万円	10.0%	△7,513万円
民生費	2億4,475万円	9.1%	1,596万円
衛生費	1億3,780万円	5.1%	572万円
農林水産業費	1億9,754万円	7.4%	1,431万円
商工費	2億6,203万円	9.8%	2,126万円
土木費	6億4,987万円	24.2%	2億5,868万円
消防費	1億5,056万円	5.6%	3,528万円
教育費	4億38万円	14.9%	△4億2,236万円
災害復旧費	3万円	0.0%	0万円
公債費	3億80万円	11.2%	△2,580万円
諸支出金	0万円	0.0%	△1万円
予備費	3,200万円	1.2%	△3,800万円
計	26億8,000万円	100.0%	△2億円

特別会計予算額の推移



◆特別会計
等の予算を計上しています。

◆方針
今年度より始まる新総合計画を基本として、村民の安心安全を確保した豊かな生活の実現に努めると共に、健全な自治体財政運営を進めていくために、行財政改革をしっかりと進めていきます。

これら予算の執行状況については、今後当該面において公開していきます。また、予算の内容については、さらに詳しいことが知りたい場合は、役場総務課政策担当財政係までお問い合わせください。

◆診療所に係る会計である国保直診勘定の購入(431万円)により増となっている。簡易水道会計は、小白川簡易水道施設等の整備費(1800万円)を計上していますが、大郷簡易水道改良事業が昨年を終了したため、大きく減となっています。

議会だより

指定期間満了にともない、新たに指定管理者を指定

3月4日(金)から14日(月)にかけて、平成23年第1回白川村議会定例会が行われました。

議会では村長施政方針や意見書の提出、議案等について審議され、全て原案通り可決されました。

主な内容は次の通りです。

□白川村過疎地域自立促進計画の変更について

白川村過疎地域自立促進計画に、左記事業内容を追加しました。

区 分：高齢者等の保健及び福祉の向上及び増進

事業名：過疎地域自立促進特別事業

事業内容：居宅介護支援事業所運営委託事業、結婚祝金支給事業

□白川村道路線の認定について

路線番号 324

路線名 荻町中央幹線

区 間 大字荻町字岩崎

1162番地2

地先から大字荻

町字寺田3279

番地4地先まで

敷地の幅員 5.6m～11.9m

延 長 1,723.7m

□白川村子ども・若者支援基金条例の制定について

平成22年度において、経済対策交付金を基金に積み立て、平成23・24年度に子ども若者支援事業の財源に充当し、活用するため制定しました。

□指定管理者の指定について

村有施設の指定管理者について、次のように決定しました。指定の期間は、平成23年4月1日～平成28年3月31日です。

◇木谷・稗田・保木脇多目的集会所施設

木谷区

平成22年度補正予算

□一般会計(第4回)

増額計：4,687万1千円

減額計：34億38万9千円

増額の主なもの 除雪関係事業など

減額の主なもの 国民健康保険特別会計(第4回)

事業勘定) 減額計：1,267万0千円

減額の主なもの 国民健康保険特別会計(第4回)

事業勘定) 減額計：1億8,712万0千円

減額の主なもの 簡易水道特別会計(第4回)

減額計：885万2千円

減額の主なもの 簡易水道特別会計(第4回)

減額計：2億9,358万7千円

減額の主なもの 温泉開発特別会計(第4回)

増額計：269万0千円

増額の主なもの 温泉開発特別会計(第4回)

増額計：7,913万0千円

増額の主なもの 白弓スキー場特別会計(第4回)

減額計：100万0千円

減額の主なもの 白弓スキー場特別会計(第4回)

減額計：1,985万2千円

減額の主なもの 老人保健特別会計(第2回)

歳入歳出の総額は変わりません。

歳出の科目を変更しました。

□公共下水道特別会計(第4回)

減額計：1,840万3千円

減額の主なもの 公共下水道特別会計(第4回)

減額計：3億5,388万8千円

減額の主なもの 介護保険特別会計(第3回)

増額計：225万0千円

増額の主なもの 介護保険特別会計(第3回)

増額計：1億7,472万7千円

増額の主なもの 後期高齢者医療特別会計(第2回)

減額計：10万5千円

減額の主なもの 後期高齢者医療特別会計(第2回)

減額計：373万0千円

減額の主なもの 後期高齢者医療特別会計(第2回)

減額計：305万5千円

減額の主なもの 後期高齢者医療特別会計(第2回)

減額計：2,348万8千円

減額の主なもの 後期高齢者医療特別会計(第2回)

減額計：305万5千円

減額の主なもの 後期高齢者医療特別会計(第2回)

減額計：2,348万8千円

減額の主なもの 後期高齢者医療特別会計(第2回)

減額計：305万5千円

減額の主なもの 後期高齢者医療特別会計(第2回)

減額計：2,348万8千円

減額の主なもの 後期高齢者医療特別会計(第2回)

減額計：305万5千円

減額の主なもの 後期高齢者医療特別会計(第2回)

減額計：2,348万8千円

減額の主なもの 後期高齢者医療特別会計(第2回)

減額計：305万5千円

減額の主なもの 後期高齢者医療特別会計(第2回)

減額計：2,348万8千円

減額の主なもの 後期高齢者医療特別会計(第2回)

減額計：305万5千円

減額の主なもの 後期高齢者医療特別会計(第2回)

減額計：2,348万8千円

減額の主なもの 後期高齢者医療特別会計(第2回)

減額計：305万5千円

減額の主なもの 後期高齢者医療特別会計(第2回)

減額計：2,348万8千円

減額の主なもの 後期高齢者医療特別会計(第2回)

減額計：305万5千円

◇平瀬民舞伝習施設

◇荻町多目的集会所施設

◇荻町文化伝承館

◇荻町駐車場

◇荻町区自治会

◇戸島多目的活動施設

◇戸島多目的活動施設

◇戸ヶ野区

◇鳩谷谷コミュニティ会館

◇鳩谷民舞伝習施設

◇飯島文化伝承施設

◇飯島集落センター

◇飯島区自治会

◇飯島文化伝承施設

◇飯島区自治会

◇白川郷迎賓館好々庵

◇好々庵管理組合

◇白川村コミュニティ消防

◇白川村コミュニティ消防

◇合掌造り焰仁美術館

◇森の食彩館白真弓

◇総合案内「であいの館」

◇せせらぎ公園小呂駐車場

◇寺尾駐車場

◇世界遺産白川郷合掌造り保存財団

◇白川郷じ・ば産組合

◇白川村茅草納庫

◇白川郷じ・ば産組合

◇白川郷じ・ば産組合

◇白川郷じ・ば産組合

◇白川郷じ・ば産組合

◇白川郷じ・ば産組合

◇白川郷じ・ば産組合

◇白川郷じ・ば産組合

◇白川郷じ・ば産組合

◇白川郷じ・ば産組合

◇白川郷じ・ば産組合

◇白川郷じ・ば産組合

◇白川郷じ・ば産組合

◇白川郷じ・ば産組合

◇白川郷じ・ば産組合

◇白川郷じ・ば産組合

◇白川郷じ・ば産組合

◇白川郷じ・ば産組合

◇白川郷じ・ば産組合

◇白川郷じ・ば産組合

◇白川郷じ・ば産組合

◇白川郷じ・ば産組合

◇白川郷じ・ば産組合

◇白川郷じ・ば産組合

◇白川郷じ・ば産組合

◇白川郷じ・ば産組合

◇白川郷じ・ば産組合

◇白川郷じ・ば産組合

◇白川郷じ・ば産組合

◇白川郷じ・ば産組合

◇白川郷じ・ば産組合

◇白川郷じ・ば産組合

◇白川郷じ・ば産組合

◇白川郷じ・ば産組合

◇白川郷じ・ば産組合

◇白川郷じ・ば産組合

◇白川郷じ・ば産組合

を閣議決定し、この中でTPP（環太平洋連携協定）について、交渉の参加・不参加を先送りしたものの「関係国との協議を開始する」と判断した。

基本方針では、わが国農業分野について「国を開く」ことを目標に挙げていますが、農業分野はすでに十分開かれている。

わが国は、世界最大の農林水産物純輸入国であり、国民の圧倒的多数が望むのは、食糧自給率の向上である。

TPPは例外なき関税撤廃を原則とするため、わが国の農林水産業を崩壊させ、食糧の安定供給を揺るがす恐れがある重大な政策変更であるにもかかわらず、現場の声を一切聞かず唐突にTPPへの協議開始を表明したことは誠に遺憾である。

TPPを締結すれば、関税撤廃以外にも郵政の見直し問題、金融、保険、公共事業の入札、医師、看護師、介護福祉士等の労働市場の開放などにより、国の仕組みが一変する可能性がある。

よって、国におかれては、次の事項について適切に対応されるよう強く求め、地方自治法第99条の規定により意見

書を提出する。

1 貿易自由化と農業再生とを両立させ、持続可能な力強い農業を育てるため、具体的で、かつ実効性ある行動計画を策定し、広く国民的な合意形成を得た上でTPPへの参加を決定すること

2 したがって、国内農業を守るための方策が整備できていない段階において、拙速な判断によってTPPへの参加を決定しないこと

この意見書は、衆参両院議長、内閣総理大臣をはじめ、関係大臣に送られました。

□白川村議会委員会条例の一部を改正する条例ついて
2つの常任委員会を1つにし、総務産業委員会としました。委員会は8人で構成され、村政全般に関する事項を所管します。

平成23年度白川村長施政方針

本日ここに、平成23年第1回白川村議会定例会の開会にあたり、提出議案の説明に先立ちまして、村政運営に関する私の所信と予算編成の基本

方針並びに主要事業の概要について説明申し上げ、広く村民の皆様並びに議員各位のご理解とご賛同を賜りたいと存じます。

世界の経済状況は、アメリカをはじめとする先進国の経済が緩やかに回復に向かっています。一方、国内では、長引く景気低迷を脱し緩やかな回復に向かっていますが、社会保障の整備の遅れや、少子高齢化に伴う生産年齢人口の減少による閉塞感により、将来への不安が広まっています。特に雇用情勢は厳しく、高校・大学卒業者の就職内定率が深刻な状況になっております。

私が村長に就任してから12年が過ぎようとしています。村長就任からこれまで、バブル景気の崩壊の影響により、日本の経済が非常に厳しさを増し、平成の市町村合併問題や、国の三位一体改革並びに地方分権が進められ、大きく世の中が変化していく時代でありました。村では、白川村が単独村として生き残る道を歩むため、白川村行政改革大綱の基本方針「1. 村民と協働によるむらづくり 2. 村民にわかりやすい行政運営の推進 3. 堅実で安定した行

財政運営の推進」を掲げ、行政改革を進めてきました。

特に財政面では、施設の維持管理や職員数の適正化を図るなど、義務的経費の抑制に努めながらも、懸案事項であった統合小学校建設事業並びに中学校の大規模改修事業や、大郷簡易水道の整備事業等を着実に遂行してきました。村の実質公債比率は、平成21年度に18%を超えましたが、地方債発行の抑制や繰上償還を進めたことにより、22年度以降は低下の方向へ推移しています。また、村の基金保有額が21億円に達するなど、健全な財政運営にあるとはいえ、行政改革を引き続き進めていかなければなりません。

平成23年度の予算編成では、冒頭に申し上げましたように、景気の回復の遅れにより、国や県が行う公共事業が減少し、こうしたことにより村の主要産業である建設業の活力が低下している為、歳出面において可能な限りの公共事業に係る予算を計上しました。また、少子高齢化対策並びに定住促進に向けた若者支援を積極的に図る為、新規事業を創設し、緊急対策を重点的に進めていきます。

また、収入面では大規模償却資産税が対前年度3,192万円の減収が見込まれていることから、過疎債や国の緊急経済対策交付金を有効に活用し、財源不足を補う政策を進めていきます。

財政の健全性の確保に十分留意しつつ、本村の着実な発展を目指し、安心・安全な村づくり、健やかに暮らせる福祉・医療、活力ある村づくり、こころ豊かに暮らせる村づくり、美しい村づくり、生活基盤づくりの6つの項目を基本方針として、予算編成をいたしました。

この結果、平成23年度当初予算案の規模は、一般会計 26億8,000万円 特別会計 9億7,710万円 全会計では、36億5,710万円となりました。前年度当初予算と比較いたしますと、一般会計は、2億円、6・9%の減となっています。それでは、平成23年度の重要政策に位置付けられた6つの柱に沿って、主要事業をご説明いたします。

【安心・安全な村づくり】

国外では、ニュージーランド地震災害が発生いたしました

た。また、国内においても、火山の噴火や地震発生。さらには、突発的な豪雨や豪雪など自然災害の発生が近年多発しています。災害を未然に防ぐことの対策に合わせ、災害発生に対して如何に迅速な対応ができるかが重要であると考えます。村では平成6年に地域防災計画を整備しましたが、近年の、頻繁に発生するゲリラ豪雨や自然災害など多種多様化する災害に対応できる防災計画の見直しが必要であります。

また、災害対策に係る資機材整備につきまして、現在使用している防災無線は、役場内設備および中継局並びに屋外拡声支局の機器が老朽化しており、更新のための調査設計費に關しまして予算計上をしております。また、国が進める災害対策計画において、平成28年度までに消防緊急無線のデジタル化整備が求められていることから、村内の無線電波調査を進めます。

災害備蓄品を計画的に購入し備蓄を進めていきます。消防に關しましては、消防車の更新など消防設備を計画的に行っています。また、高山消防署へ白川村職員の派遣が求められており、平成23

度において職員2名を高山消防署へ派遣します。

【健やかに暮らせる】

福祉・医療

健康に出生育児ができる環境を提供するため、乳がん健診や、子宮頸がん健診の必要性を村民に啓発し、受診率向上を進めます。また、乳幼児及び妊産婦の疾病予防、健康増進、育児支援を目的に、乳幼児健診、妊婦健診を進め、母子感染の危険性から成人白血病検査やクラミジア検査に対する助成を実施します。更には、子宮頸がんやインフルエンザ菌b型、肺炎球菌の予防ワクチンの接種費用の全額助成を進めていきます。

子育て支援の一環として、小学校1年生から中学卒業までの児童・生徒を対象に、病院等で支払った医療費の個人負担分を助成し、医療費の實質無料化を引き続き進めていきます。

成人者の健康維持を目的に生活習慣病を予防するための食生活の改善や予防知識の周知、個別健康教育等を進めていきます。また、疾病予防、病気の早期発見を目的に、がん検診や骨粗鬆症健診などの住民健診を進め、筋力トレ

ニングを普及し、健康増進を図ってまいります。

高齢者が住みなれた地域で健康にいきいき暮らしていただけるように、高齢者バス利用費助成事業により、シルバー定期券の50%を助成します。この他、医療・保険・福祉サービスをより充実していくとともに、介護が必要となった高齢者が安心して生活できるように、介護保険制度の充実強化を図ります。また、第5期介護保険事業計画の策定を進めるとともに、愛知慈恵会と協力して、特別養護老人ホーム「瀬音さくら山荘」の増床の課題について検討していきます。

また、平瀬診療所において、X線画像診断装置を整備し、医療機器の整備に努めます。さらに、緊急医療体制の強化と充実した医療体制の整備を目的に、久美愛厚生病院移転新築工事費用の一部を負担金として計上しています。

保育園児の保護者の皆様からのご要望を基に、土曜日の通常保育実施や、保育園給食費の無料化を進めていきます。

【活力ある村づくり】

雇用促進及び定住促進は、

本村にとつて緊急かつ重大な課題であります。この対策として、白川村通勤就職者補助金を新たに予算計上しました。制度の内容としましては、村内に居住されている方で、村外に就職し通勤する40歳までの若者を対象とし、1ヶ月あたり2万円以内の通勤費用を助成します。また、シルバー人材センターへ事業委託を行っている業務を見直し、雇用範囲の拡大や、若年層への業務創設など対策を進めていきます。

若者世代の未婚化や晩婚化が進行しており、結婚意欲をもった若者の出会いの場を提供するなど、結婚支援活動を行います。

村づくりを目的に活動する団体に対して、50万円を限度として支援を進めていきます。

平成7年の世界文化遺産登録や東北北陸自動車道開通などにより、本村の主要産業の一つとなった観光産業の裾野を広げ、村内全体の更なる振興発展を図ることを目的に、白川村観光基本計画を作成します。

来年白山は、国立公園指定50周年を迎えます。記念事業の準備を進めるとともに、食に関するワークショップの開

催や、旅行商品のPRチラシなどを作成するなど、白山国立公園や温泉を活用した、南部地区の一層の活性化を進めていきます。

また、昨年は外国人旅行者の来訪が10万人を超えるなど、海外からのお客様も多岐みられるようになったことから、海外からの観光を誘致するために本村の四季を紹介する、英語・韓国語・中国語に対応した観光PR用DVDを製作します。

本村の弱い部分である、第六次産業とよばれる農産物の食品加工・流通販売に業務展開する産業の支援策として、新規雇用の支援を進めていきます。

【いっしょに豊かに暮らせる】

村づくり

今年4月より、白川村独自の小中一貫教育が始まります。教職員の方々には専門性を活かした授業に取り組みをいただき、子どもたちの学力を最大限に伸ばし、豊かな心を育てる教育を行っていただきます。

統合小学校により、南部地区ご父兄の皆様が抱える不安や戸惑いを解消することを目的に、検証委員会と引き続き

協議を継続していきます。また、通学用スクールバス増設に伴い、車庫の新築を行います。

社会教育では、「心豊かで、たくましく、自立する人が育つ村」の実現に向けて、中日文化センターの協力をいただき、各種生涯学習講座の開催や、スポーツをとおした村民の体力向上、健康増進を行っています。軽スポーツの普及推進や、乳幼児学級など各種家庭教育級の開催を支援していきます。また、次代のリーダー育成を目標に、高校生を地域行事等に主体的に係わる仕組みを作ることににより、郷土を愛する心を養っていただき、青年には青年会の自主的な組織活動を支援し、同世代の仲間意識を養うとともに、リーダー教育を進めていきます。

文化財保護事業では、荻町世界遺産地区の保存に関する世界遺産マスタープランの策定作業が、昨年完了しました。このマスタープランの中でうたわれた、3本柱の一つである「世界遺産の価値を高める」を実行するために、「環境物件や建造物などの追加調査を実施し、文化的価値の保護と向上に努めます。また、伝統的

建造物群保存地区保存修理事業に加え、消火栓等カバーを、より安全に扱いやすいものに改修します。

国重要文化財旧遠山家住宅が老朽化していることから、早急な修理が必要であり、併せて旧遠山家の入館者数が減少していることが課題となっています。このような課題に対し、修理活用検討委員会を立ち上げ、南部地区の活性化と絡め、修理計画を策定していきます。

地域資源総合交流促進施設整備事業を活用し、合掌造り民家園内の浅野家の改修に併せて、アルペロベッコロ市の紹介など、交流内容を広く知っていただくための交流展示ブースを整備します。

【美つづ村づくり】

統合小学校建設に伴い、使用されなくなる小学校校舎やプールなど施設の利活用に関して、南部地区と大郷地区の2地区に検討委員会を設置し、協議していきます。また、旧芦倉分校校舎につきましましては、地域からの強い要望あり解体除去を行います。花いっぱい運動の花苗や肥料配布等、今年も強力的に推

し進めます。花街道整備事業として、国道を中心に草刈を行い、景観を良くしていきます。高山市へ可燃ゴミの処理を委託しており、村は可燃ゴミや資源ごみの収集運搬業務を行います。村から排出される可燃ごみの約50〜60%が生ゴミであり、減量化対策として家庭用生ゴミの処理機、コンポスト、ほかし菌の購入に対し助成を進め、ゴミ処理に係る経費削減のためにゴミの減量を進めていきます。また、

し尿処理に係る収集運搬及び清掃業務を民間へ、処理業務については高山市へ事務委託しています。

【生活基盤づくり】

村道の改良事業として、木谷稗田線改良事業、鳩谷馬狩線改修事業、荻町下ゴソ線法面改修事業、平瀬幹線道路改修事業を予定しており、地域の住民の利便性を図ります。また「橋梁長寿命化修繕計画」に基づき、改修の緊急性が高い御番所橋改修事業を予定しています。今後、社会資本整備交付金の活用により、順次橋梁修繕を進めていきます。東海北陸自動車道の4車線化実現は、住民生活の利便性のみならず、安全性の問題や

渋滞緩和などの対策が求められていることから、関係自治体と共に粘り強く陳情活動を続けていきます。

大郷簡易水道工事については、今年度、配水地の整備をもって完了いたしました。また、小白川飲料水供給施設については、新たに安定した良質な水源の確保を目的とした改修工事を進めます。

終わりに、先月2日に第六次総合計画の答申を受けました。計画策定にご尽力をいただきました審議会の皆様をはじめ、関係いただいた多くの方々に、心より感謝申し上げます。総合計画に示された計画につきましては、平成23年度予算に反映させていただくと共に、今後の行政運営の基本施策として実行してまいります。

総合計画の基本目標に掲げられました「日本一美しい村白川郷」の実現に向けた村づくりには、村民の限りない英知と汗を結集した「村民参加」が必要であります。今後、議員各位並びに村民の皆様とともに力強く前進してまいります。

一般質問

白川村の道路除雪事業の計画について (高桑議員)

Q、白川村の主幹産業であった建設業者は激減し、各社における除雪路線の延長は、オペレーターはもとより、除雪機の保有台数増加の必要性が発生している。特にロータリーについては不足していると聞いている。しかし、会社側としては、夏場における仕事量の減少と、昨今の地球温暖化による除雪量の不安定化で、除雪機への投資は難しい状況である。

中古の機械も含め、村が全体の40%を保有する等の計画を、10年から15年単位で作成することはできないか。

A、この冬は大変な大雪で、特に1月は連続的な降雪により、除雪がほぼ毎日稼働しました。それに伴い、除雪費も多額になり、3月補正予算を行ったところでは、

村においては、公共事業の減少と、不況による業者数数の減少により、除雪を受託される業者には、大変な負担をかけております。村道除雪について、現在村内の業者7社で

行っています。その他委託が1社、富山県からも1社お願いでいます。

村での除雪機保有について、ロータリー除雪車が7台、うち村の所有が2台、歩道用が1台です。また、タイヤドローザーが12台、うち村の所有が1台です。その他、応援のタイヤドローザーが3台あり、これらによって実施しております。

ロータリー除雪車は、冬季のみの使用となり、業者にとつては大変大きなリスクになっています。また、タイヤドローザーについても、建設事業の減少に伴い、1年間に使用する期間が短く、これについても、業者にとつて大変な負担があります。よって、現状において除雪機の確保が難しいといえます。これらの状況を踏まえ、村の方でも除雪機を確保して、必要があると考えます。

平成23年度において、村のタイヤドローザーを更新する予定となっています。当然ながら村単独での購入は、財政上難しく、村道除雪の事業実施会議の中で、受託業者の状況、ご意見をうかがいながら、除雪機の不足について相談し、機械の計画的な更新を進めて

いきたいと考えます。

白弓スキー場の運営方針について
(高桑議員)

Q、今年の2月の3連休初日に、岐阜大和インターから国道156号線で白川に帰ってくる機会があった。郡上市のスキー場は、一部駐車場が満車の表示が出るなど、賑わいを見せていたが、白弓スキー場は、国道からの確認ではあったが、人を確認するのが困難な程、人がいない状況であった。

村営のスキー場だからこそ提案だが、年末年始を除くという条件の下、村内の旅館・民宿に宿泊の方に限り、1日分のリフト券代を無料にするなどの施策は。

A、白弓スキー場について、今期の営業を終了しましたが、入場者数は、昨年よりも若干減っているようです。

白弓スキー場の位置付けについて、観光的なものとするのか、子供たちの教育のためとするのか、今まで色々と検討してきました。

今年の中学生をみますと、東海北陸大会や全国大会へ出場する生徒が何人もおり、また、中にはアジアの大会に出

場して、良い成績を残しています。そういったことから、教育的な目的について果たしているものと考えます。

宿泊者に対する優遇策については、以前木谷地区の宿泊者を対象に、実施したことがありません。しかし、なかなか良い結果が得られませんでした。現場の人の話をきくと、白弓スキー場が白川村にあることについて、対外的にはあまり知られていないようです。世界遺産白川郷にある白弓スキー場として宣伝できないか、とのことでした。優遇策も含め、まずは、地元の関係者とよく議論して、方向付けを決めていきたいと考えます。

小集落で生活される高齢者支援対策について(高桑議員)
Q、買い物難民は、白川村にとつても人事ではない問題である。

過去の白川村において、農協が合併する以前は、移動販売車「ひまわり号」があり、地域に密着していたが、恐らく採算性の問題の中で撤退したと考えられる。現在、戸島地区や飯島地区から、歩いて荻町の農協まで買い物に行かれる方もいる。北部地区の方

については、事実上徒歩は不可能で、福祉バスを利用すればいいと簡単に言えるのか。

福祉バスに配送機能の業務、また、村で「ひまわり号」のような販売者を用意するなど、自家用車がなくても、高齢者等の日々の買い物に大きな不自由が伴わないための施策は。

A、高齢者や足の悪い方の施策については2つの方法を考えています。

1つは、岐阜生協などの宅配サービスを利用してもらうことです。これをもう少し機能充実させ、電話1本で、すぐ届けられるよう、宅配していただけの業者と話をすすめていきます。

もう1つは、地元タクシー会社と契約して、診療所へ行きたい、あるいは農協などへ買い物に行きたいという方が、タクシーを利用できるようにすることです。この場合、タクシーの費用について、村がどれだけ補助できるか。議論を深めながら、高齢者等にあまり負担のかからない体制づくりを考えていきます。

地上デジタル化について

(上手議員)

Q、2011年7月に地上デジタル化がスタートする。

白川村においても2年前から準備をし、今では全世帯でデジタル放送が見られる状態にあると聞いている。しかし、今まで共同アンテナで見ることでできたNHKの衛星放送が、今後見られなくなるといふのは、本当か。

衛星放送を見る上で、各家庭に衛星アンテナを設置する必要はあるが、世界遺産地域にアンテナは似合わない。電線地中化工事を行い、景観が良くなった中、衛星アンテナが合掌造りに付いていたり、アンテナを受信するための電柱が立っただけでもいいのかが、世界遺産にふさわしい景観のため、何らかの対策は。

A、通信関係の会社等に確認をしたところ、地上デジタルになった時点で、現在各家庭で視聴されている衛星放送第1・第2放送については、見られなくなります。

荻町八幡神社の裏にあるアンテナに機械を設置すると、村内全域でアナログ画質の衛星放送が見られる、という話もありました。しかし、業者

に詳しく確認したところ、それはアナログテレビで見られられないことでした。地上デジタルテレビで見ると、個別に専用のチューナーを設置しなければ見られないとのことで、現実的に衛星放送については、個人でアンテナをつけて見ていただくこととなります。

荻町の世界遺産地区は、伝統的建造物群保存地区ということで、いかに地域ぐるみで守っていくのが大切です。

アンテナの設置について、アンテナ自体をだめとしてしまふのか、色を茶系色にして目立たなくするのか。村主導でなく、まずは、荻町の保存会がどういう考え方をしているのかを示し、その後、村との協議になるのでは、と考えます。

外国人旅行者への通貨両替について (上手議員)

Q、白川村には多くの外国人観光客が訪れているが、村内の民宿・土産店・飲食店において、クレジットカードが使える所が少なく、ニーズに対応しきれない。

セブンイレブンのATMでは、外国通貨の両替ができるようだが、世界遺産として全

世界に知られている中、せめて通貨両替ができるATMを、総合案内であいの館に設置できないか。

A、通貨の両替について、ドルを日本円に、あるいは日本円をドルに交換できる機能のほとんどが、空港内や大規模ホテル、銀行等にありますが、郵便局での両替については、近い所で高山中央郵便局や、砺波市の大きな郵便局で行えます。

村内にある郵便局のATMでは、海外クレジットカードで日本円を下ろすことができます。

セブンイレブンのATMは、セブン銀行が設置しているものと思われませんが、それでも、キャッシングサービスが利用できます。ATMの設置については、経費の問題があり、設置費用に約150万円、また、その他通信費等経費がかかります。これらを手数料でまかなえるのか、難しいところだと思います。それから、各関係銀行等の了解も必要となります。以前観光協会の方へ、セブン銀行から問い合わせがありました。

今後設置業者からの打診があれば、経費等ふまえ、検討

したいと考えます。

外国人観光客に対するサービスとして、言語バリアフリー化の実施を行っています。また、高山市との事業で、既存のケーブルを用い、電子案内板の整備や、貸し出し用の携帯端末等により、リアルタイムで観光情報を提供しています。今後も、外国人が安心して観光できるよう、環境の整備を行いたいと考えます。

「馬狩集落」の再編状況と村行政区画としての対応等について (松井議員)

Q、馬狩地区にあるトヨタ白川郷自然学校建設当時、トヨタ自動車(株)と白川村の間で、行政課題等について、何か取り決めがあったか。

現在、トヨタ白川郷自然学校には、正規・パート職員合わせて約40人が勤めており、ほとんどが村外からの転入者である。職員寮では、家族持ちの世帯も増え、新しい馬狩集落が形成されているといえる。今後、馬狩集落住民の安心安全な生活環境保全策として、道路関係の整備や、冬期間の除雪体制充実への対策は。

A、トヨタ自動車(株)が馬狩にトヨタ白川郷自然学校を建設した時、雪が多いため、冬期間は閉じたい、とのことでしたが、地元雇用の関係もあり、何とか年間やってほしい、とお願いました。この際、道路の除雪については村が行うことを、口頭で約束をしていましたが、文書としては何もありません。

特に馬狩集落は、道路整備が大切です。鳩谷の神社から寺尾までの側溝改修や、馬狩までの法面改修や舗装を今年も行います。また、除雪もすっかりやっているところですが、トンネルから下りてくるところが滑り、とても危険とのことです。地元の関係者との問題もありますが、除雪だけでなく、凍結防止剤をまくなど、安心して通れる道路にしたいと考えます。

そして、テレビの問題もあります。馬狩地区は、現在衛星放送しか見られませんが、大郷テレビ組合とも話をすすめ、3月末には、村としてできる部分の整備が終わる予定です。

また、子どもの学校への送り迎えについても、他の集落と同様に行っていますし、集落座談会は鳩谷地域で参加し

ていただきます。馬狩地域の住民にも、村の行事、特に祭りへ積極的に参加してもらおうなど、他地域とのコミュニケーションを図り、一体となる必要があると考えます。

落雪式屋根の安全対応について (新谷議員)

Q、村内において、1月30日、合掌屋根の雪降ろし作業中に、突然の落雪により、14名が埋もれる事故が発生したが、大事に至らず安心した。

屋根雪対策として落雪方式の屋根があるが、いつ落雪するかわからず、危険である。住民や車が通る村道等に直接落雪する屋根も見受けられ、事故の発生が心配される。今のところ事故は発生していないが、そのような家屋数の把握や、雪止め設置を指導するなど、災害防止のための対策は。

A、村道等に直接落雪する家屋数について、実数把握はしていません。ただ、主屋の他に車庫や倉もあり、毎年区長会において、通学児童・生徒の安全確保を主とし、協力の依頼を行っています。その中で、各自が適切に行っていただきたい、として周知を

ています。また、学校においても、先生方による点検等を行っており、連絡が入っているところではあります。

落雪式から雪止め設置について、以前指導したこともあります。協力ということになりますので、それ以上は言えませんが、協力の依頼という形で、危険箇所についてはお願いした経緯があります。

平成23年度村長施政方針について

(森崎議員)

Q、村長の平成23年度村政運営に関する所信表明で、雇用促進及び定住促進が重大な課題としている。対策として、白川村通勤就職者通勤費補助金の創設、また、シルバー人材センターへの委託業務を見直し、雇用範囲の拡大・若年層への業務創設など対策をすすめる、とあるが、施策内容は。

社会教育において、生涯学習講座や乳幼児学級の開催、また、青年会の自主的な組織活動を支援する、とある。しかし、白川村の女性の施策については、一切触れられていない。今の女性会は、組織活動がほとんどないが、村づくりの施策を行う中で欠かせない組織・団体といえる。そ

の声を村政に反映させるための方策は。

また、村では老人等の住宅屋根雪降ろし補助があるが、結の村として名の知れた白川村で、金銭的補助だけでいいのか。他地域で雪降ろしボランティアが活躍する報道を見たが、ボランティア活動についての考えは。

A、高校や大学を卒業した若い方の就職難が課題になっていきます。しかし、白川村の企業がハローワークへ求人を出しても、そこに地元の方が動かない状況もあります。

そこで、白川村に住みながら、高山や富山などの近隣都市へ通勤する若者に、助成金を交付する事業を行います。

村がシルバー人材センターに委託している事業で一番大きいのが、せせらぎ駐車場整理です。この業務に若者も勤めることができるよう、先日、新聞折込で2名の職員募集を行ったところではあります。また、各地区のトイレ掃除や、スクーターパスの運転業務についても、将来的には若者へシフトしていけたらと考えます。

その他、村内の就労の場として、トヨタ白川郷自然学校や、さくら山荘があります。

さくら山荘には、現在パート職員も含め40人が勤めています。今後9床の増床計画があることから、さらに14人の雇用が増える予定となっております。

女性会は、各地域での活動はありますが、現在連合がない状態です。生涯学習の面からも、昔の連合を復活させたのですが、連合をなくした当時の状況を知っているため、行政主導で行うことは難しいと考えます。

村のボランティアについて、例えば屋根葺きや雪降ろしで事故があった場合、頼んだ人の責任となってしまうことから、ボランティアを依頼するのが難しい状況です。しかし、4月29日に行われる村民一斉美化運動や、各種団体による国道の清掃活動。これらは、大変誇れることです。年間約160万人が訪れる観光地の国道で、ごみがほとんど落ちていないことに、大変驚かれます。これは、村民の皆さんによるボランティア精神の賜物といえますし、このような危険を伴わないボランティアは、今後も続けていきたいと考えます。

健全財政を確かめる数値をどこに求めているのか

(長瀬議員)

Q、平成20年に実質公債比率が18%を超え、毎年繰上償還を行っているが、その目的は。白川村は基金残高が21億円あり、健全財政とのことだが、基金に積むのでなく、白川村の雇用・就労促進に使えないのか。例えば、求人をしていない企業に、雇用促進援助金のような制度を作り、補助するなどできないのか。

A、現在償還しているお金は、平成6年からの下水道に関するものが多くを占めています。利率が5%以上で、期間が30年と長いものです。金利の高いものは早く返す、これは家計でも一緒で、これが健全財政につながります。

今回東北で災害があり、特別交付税が止まっています。何が起こるか分からない中、基金を積んでおくことは必要と考えます。

住みよい村、心豊かな生活のできる村なのに、なぜ人口の減少は止まらないのか

(長瀬議員)

Q、国勢調査の結果で、白川村の人口増減率がマイナス12

5%で、県下ワースト1位となった。これについての方策は。

A、今回の調査での人口減少の大きな要因は、高速道路作業員の転出によります。平成22年の人口が1892人、平成22年が1733人。20年間で159人減っています。年平均にすると8人の減です。減ってはいませんが、他の過疎地域と比べると、減少傾向が少ないと認識しています。

適齢期の男性・女性で結婚しない方が増えており、今後人口減がすすんでいくと予想されます。人口を増やすためには、若者たちが帰ってくる村づくりが必要です。来年の白山国立公園50周年記念を機に、南部地域でイベントを行います。イベントは村の若者たちが企画し、バザーの実施やB級グルメの開発につなげることで、観光業の雇用の創出につながります。

これからは、荻町一極集中の観光でなく、分散化させることが、人口を減らさない施策と考えています。

産業課 観光担当 課長補佐 古田 直樹

平成23年2月22日～27日まで行われた、松本・高山・金沢・白川郷誘客協議会の海外誘客事業に参加させていただきましたので、ご報告させていただきます。

本トラベルフェアは、タイ国内の旅行博として年2回実施されているもので、世界各国の旅行業者及び自治体が、ブース(全1,017)を開きました。そこでは、それぞれの地域のPRや旅行商品が売買される(総売り上げ13億バーツ=日本円にして約37億円)など、期間中(2月24～27日)は約80万人が訪れ、大変な賑わいでした。

我々協議会は2月22日に中部国際空港へ集合し、タイのスワンナプーム国際空港に向けて飛び立ちました。午後3時頃に到着した後、日本政府観光局バンコク事務所を訪問し、タイの旅行事情などを学びました。タイからの年間訪日旅行者数は21万人で、親日国家でもあることから、富裕層を中心に今後益々伸びることが予想されるとのお話を伺いました。(平成22年タイから訪れたお客様は、高山市へ約11,000人、白川村へは約6,000人)



イベントステージで協議会の紹介

翌23日には、バンコク市内の旅行業者3社を回らせていただき、旅行企画担当者に対し、それぞれの地域のPRを行いました。24～27日は前述のとおり、トラベルフェアにブースを設置し、パンフレットの配布を行いました。タイ人は、個人の旅行志向が他の国に比べて強く、綿密な計画を立てた上で日本へ訪れるようで、ブースでは、高山からのバス時刻や本数を聞かれました。また、金沢からのバス時刻・本数、更には富山県の立山黒部アルペンルートからの道程を聞かれたりと、色々細かなところまでの質問が多く、事前に準備した各バス会社の時刻表が、大変役に立ちました。また、荻町地内の民宿に宿泊された方から、携帯電話で実際に撮影した写真を見せていただき「すごく親切で良かった」とのお言葉もいただきました。

今回の事業では、村内の事業者から「ふじや旅館」の小坂さんと「156レストランラッキー」の藤井さんが参加され、村の担当者としても非常にうれしく、心強く感じました。また、期間中には、タイの旅行

業者及びメディアを対象とした商談会も開催され、前述の小坂さん、藤井さんも積極的に自施設のPRを行いました。パンフレットについては、現地で制作したタイ語版1,000部と、日本語・英語併記版400部を準備しましたが、4日間で全て配布してしまいました。



協議会ブースの様子

今回のフェアでは、日本側の自治体及び企業の参加が20団体で、近くは富山県、遠くでは沖縄県からも参加があり、タイを重要なマーケットとしてとらえているところが多くあるな、と感じました。また、我々協議会のブースにタイの旅行業者が来られ、旅行プランを示したパンフレットの中で、白川郷を扱っているよ、とのアピールをしてくださるところが何社もみえ、大変ありがたく感じました。国内の旅行事情においては、長引く不況等により、非常に落ち込みが激しいところですが、村としても、今後パンフレットの全編英語化や、村全域を紹介するDVDを作成するなどソフト面を整備し、外国人観光客のより一層の増加を見据え、対策を講じなければいけないなどの課題を感じ、帰路に着きました。

今回のフェアについては、来年2月にも同様に予定されております。まだ早いですが、参加を希望される事業者様がおられましたら、是非、お知らせいただくようお願いし、今回の参加報告とさせていただきます。昨年8月のシンガポール・マレーシアに続いて、貴重な体験をする機会を与えていただき、ありがとうございました。

商談会で旅行業者に説明する
藤井さんと小坂さん

若者の通勤就職者への助成を始めます

東海北陸自動車道の全線開通により、近隣市への通勤が可能となりました。そこで、若者が村に住み、近隣市に就職されることによって、雇用の場の確保と人口の減少を防ぐことを目的に「若者等通勤就職者助成事業」を始めます。

新総合計画策定にあたり実施した「村民生活の満足度アンケート」では、「雇用・就業の場」に対する満足度が大変低い結果でした。景気の低迷や公共事業の減少など、村の雇用環境は不安定な状況といえます。

このような課題を受け、平成23年度から始まった第六次総合計画では「人口減少、少子高齢の時代に生きる、ひとつづくり・ものづくりを目指す」ことを基本方針のひとつとし、「若者の流出抑制」と「新村民の受け入れ」の対策をすすめます。

そこで、この事業では、近隣市へ通勤する若者を対象に助成することで、若者の職業選択の機会が広がり、村に生活する若者が少しでも増えることをねらいとしています。

助成の対象者

対象者：白川村に住所をおき村外（旧荘川、平、上平を除く）に安定的に就労し通勤する
満40歳未満の勤労者

- ①白川村に住民票をおく者
- ②白川村および高山市荘川町（旧荘川村）、南砺市旧平村・上平村以外に通勤する者
- ③通年にわたり雇用され、社会通念上月の就業すべき日数勤務し、通勤している者
- ④満40歳未満である者

対象経費及び助成額

対象経費：定期に運行される交通機関又は自己の所有する自動車を利用して通勤に要するための経費
助成額：月額 2万円

申請方法

助成を受ける場合は、役場へ申請書及び就業証明書などの提供が必要となりますので、助成を希望される対象の方は、下記までお問い合わせください。

- 問い合わせ先 総務課 環境計画係 TEL 6-1311

※この事業は、長野県大鹿村（日本で最も美しい村）連合加盟村）で実績のある事業を参考にしました。

高齢者の乗合バス利用費助成を始めます

村では高齢者福祉施策として、平成23年4月より日常生活のサポートと外出支援を目的に、バス会社（「濃飛バス」及び「加越能バス」）が発行する『高齢者バス定期券』購入時に費用助成を行います。

助成の対象者

対象者：白川村に住所を有する65歳以上の方

購入方法

購入を希望される方は、購入窓口（白川村では「総合案内であいの館」）にて、申請書に必要事項を記載していただくと、通常販売金額の半額で購入していただけます。

購入に必要なもの

印鑑、身分証明書（健康保険証等）、
写真（3cm×2.4cm）

*写真は加越能バス定期券を購入する場合
にのみ必要です。

- 問い合わせ先 村民課 村民福祉係 TEL 6-1311

高齢者バス定期券

◆濃飛バス

→「悠々手形（シルバー定期券）」4,000円/2ヶ月券

→**2,000円/2ヶ月券**（村半額負担）

*区間に応じて、乗車料金が異なります。

例)白川村⇄平瀬間を利用した場合

2ヶ月間は、通常片道690円（又は770円）が

片道300円でご利用できます。

白川村⇄高山まで利用した場合

2ヶ月間は、通常片道2,400円が片道500円でご利用できます。



◆加越能バス

→「ゴールドパス」15,000円/3ヶ月券

→**7,500円/3ヶ月券**（村半額負担）

*その他、6ヶ月券(25,000円)・1年券(45,000円)も
村半額負担の対象となります。

*乗車証を購入していれば、区間に関係なく乗車料金は発生しません。

◇濃飛・加越能バスとも、高速バス、他社との共同運行バスではご利用できません。

◆村職員の人事異動◆

役場では、4月1日付で職員
員の異動・昇格を行いました。

係長・主査級以上について
掲載、()は前職

◆課長補佐級

産業課 観光担当 課長補佐

古田 直樹

(同課 商工観光係長)

産業課 農林担当 課長補佐

鈴木 雅彦

(同課 農林係長)

村民課 診療所 課長補佐

和田そのみ

(同係長)

◆係長・主査級

産業課 商工観光係長

石田 一

(同課 建設係主査)

産業課 商工観光係長

西村 利夫

(同主査)

産業課 農林係長

大溝 長雄

(同主査)

会計室 会計係長

小坂奈緒美

(同主査)

総務課 環境計画係主査

坂本 弥生

(同主任)

村民課 保健衛生係 保健師

豊田 留実

◆新採用職員

総務課 庶務係

清水 千明

総務課 庶務係

手塚 正太

◆社会教育主事

新谷さゆり (臨時)

◎高山消防署へ派遣

(総務課庶務係付)

高島 祐哉

手塚 正太

消防団辞令交付

4月1日(金)村消防団の辞令交付式が旧白川小学校体育館で行われ、新たに3名が入団されました。平成23年度は、総団員数156名で組織されています。

()は前階級、敬称略

◆退団辞令 長い間ご苦勞さまでした
梨谷 一貴 (南部団員) 高島 祐哉 (南部団員)

◆入団辞令 よろしくお願ひします
大郷分団 = 山腰 郁 大郷分団 = 池尾 望
大郷分団 = 宮脇 怜也

◆任命辞令
教育班 = 齋藤 秀樹 (中部部長)

診療所だより

伊左次 悟先生



老人クラブでの講演

新年度を迎えました。ようやく春らしい日も増えてきています。雪も日に日に減っていき、いよいよ田んぼや畑が気になりだすころですね。雪またじの疲れはもうとれていとは思いますが、始めからいっぺんに頑張るべきないようにしてください。春先は急に頑張るって体調を崩したり、けがをされる方が多い時期でもあります。

この冬は何度か講演の機会をいただきました。一番印象に残っているのは老人クラブのふれあい研修会です。この時は、まず僕自身の歴史と白川村でやっていることを紹介しました。また村のお年寄りがどこでどんな病気で亡くなっているかの現実をお話ししました。最後にさくら山荘の生活ぶりの実情を、南庄長補佐に紹介していただきました。

その後の懇親会が圧巻で

した。80名以上の参加者全員にお酒をついでまわりまわりました(実際にはつがれてばかりでしたが)。それぞれの方と日常話から始まり、これまでのご本人やご家族の病氣・介護・看取りの思い出話などもすることができました。なお最後は酔いがまわった勢いで、帰りのバスガイドも勤めさせていただきました。こういう機会があると、高齢者の健康や生活を支える仕事をしているつもりながら、実際には自分も皆様に支えられていることに改めて気づかされます。

世の中は未曾有の震災被害や収拾のつかない原発問題で騒然としています。マスコミでは連日暗いニュースが続きます。村の観光への煽りも大きいように聞いています。被災者の方々はもちろんですが、まずは村民皆様に活力を持って日々元気でやっていただきたいと思ひます。

いざという時に備えて



合掌を火災から守れ

文化財防火デーに伴い、3月3日(木)荻町地内で火災想定訓練が行われ、村消防団及び高山消防署白川出張所員、地域住民らが協力して、取り組みました。今年、国重要文化財の「和田家」を出火場所と想定して訓練を行いました。参加者たちは、まだ雪が多く残る中、迅速に防火水槽や消火栓からホースを延ばし、勢いよく放水を繰り返しました。

3月10日(木)役場で保健推進員研修会があり、救急救命処置について学びました。

この日は、高山消防署白川出張所の奈須一さんを講師に、訓練用の人形を使い実技を交えながら、応急手当の方法を習いました。正しい心臓マッサージの仕方について、奈須さんは「ただ胸を押しただけでなく、力

の入れ具合や手を動かす早さが重要」と助言し、参加者は真剣な表情で練習しました。

保健推進員は、村民の健康を支える身近な存在として、健診の通知や、健康に関する悩み相談に応じています。今後もこのような研修を続け、健康づくりに関する様々な活動を行います。

白川中男子 2連覇



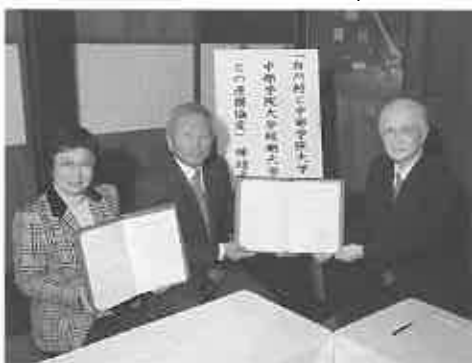
3月12日(土)・13日(日)白川中学校体育館などを会場に、世界遺産・白川郷杯が行われました。

この大会は、バレーボールを通じて、他地域の生徒らと交流を図る目的で開催され、今年で3回目をむかえました。高山市や郡上市、富山県の中学校に加え、各務原市や石川県からも参加があり、男子9チーム、女子12チームで熱戦を展開しました。

1日目は予選リーグ、2日目は決勝トーナメントがあり、白川中学校男子バレー部が、昨年に続いて見事優勝を飾りました。



村の福祉・教育発展目指し、連携



白川村と中部学院大学・短大(関市)は連携協定を結び、3月25日(金)合掌造り民家園で調印式が行われました。同短大は、2008年度から白川村で新入生の入学研修を行っており、村の保育園やさくら山荘を訪問するなど、交流を深めており、今回の協定のきっかけとなりました。協定は①地域の発展と住民生活に関する共同研究②地域の生活文化と自然を生かした教育プログラムの開発③村民に対する生涯教育の提供④福祉を発展するための協力を柱にしており、福祉や教育の課題に、共同で取り組む体制が整いました。

あなたの情報をお待ちしています。

☎6-13311 内線126

白川村飛まわり会活動のご紹介

白川村飛まわり会（正式名称「白川村食生活改善連絡協議会」）は、食生活の改善や健康づくりに関する活動を通し、村民の健康保持・増進を図ることを目的としているボランティア団体です。昭和52年に発足してから34年間、食に関する活動を通じて、地域に貢献しています。

発足当時は、低栄養や塩分の過剰摂取に対する村民への呼びかけを行うなどの活動をしていました。現在では、健康問題も変化してきており、減塩食をすすめるのはもちろんのこと、メタボ対策の食事を提供したり、若い人たちへ伝統食の継承をしたりと、様々な活動を行っています。特に高齢者に対しては、長年にわたり高齢者学級での昼食作りや、ひとり暮らし高齢者への弁当配布をしています。高齢者の好みや健康を考え、季節感も味わたる飛まわり会の料理は、毎回大変好評を得ています。

☆ 平成22年度の主な活動 ☆

4月	飛まわり会総会	11月	高齢者学級昼食作り
5月	大学生との食育交流	12月	一人暮らし高齢者弁当作り・高齢者学級昼食作り
6月	高齢者学級昼食作り	2月	高齢者学級昼食作り
7月	一人暮らし高齢者弁当作り	3月	一人暮らし高齢者昼食作り
9月	一人暮らし高齢者弁当作り		

平成22年度に、新規加入者の募集を行いました。全7回の講習を受け、新たに飛まわり会員として認定された4名の加入により、総会員数は28名となりました。



新規加入者講習の様子



高齢者学級の昼食を作る会員たち

● 問い合わせ先 村民課 保健衛生係 TEL 6-1311



久保 貴司
消防士長(主任)
【居住地】
高山市本母町



土田 靖
消防司令補(主査)
【居住地】
高山市清見町



桑原 誠
消防司令補(主査)
【居住地】
高山市清見町



日動リーダー 中田 浩三
消防司令補(主査)
【居住地】
高山市上岡本町

◆職員紹介
4月の人事異動により、6名の新しい職員が配属となりました。

消防署だより

◆平成23年度 全国統一防火標語
「消したはず 決めつけないで もう一度」



桜本 優
消防副士長(主事)
【居住地】
高山市荘川町



木下 隆浩
消防士長(主任)
【居住地】
白川村飯島



◆地震に備えて！
地震が発生したとき、被害を最小限におさえるには、適切な行動をとることが重要です。いざというときに落ち着いて行動できるように、日頃から地震についての準備と心構えを身につけておくことが大切です。家具類の転倒・落下防止や、非常用持ち出し品の備え、家族の安否確認方法や災害時の集合場所等、今一度家族で話し合っておきましょう。

白川村で仕事ができることに誇りを感じています。すばらしい郷土と、村民の方々の生命・財産を守るために精一杯、努力したいと思います。よろしくお願ひします。

◇◇住宅用火災警報器 3月現在の届出率【74.1%】◇◇

3月中の火災と救急 火災 0件 救急 8件 救助 0件

らせ

納期を守って明るい村づくり！

軽自動車税(平成23年度分)

国保料/保育料(4月分)

介護・後期高齢者保険料(普徴4月分)

納期限は4月25日(月)です

検察審査会からのお知らせ

交通事故、詐欺などの犯罪の被害に遭い、警察や検察庁に訴えたが、検察官がその事件を裁判にかけてくれないことがどうも納得できない。このような方のために、検察官が事件を裁判にかけなかったことが正しかったかどうかを審査する機関として「検察審査会」があります。

このような不満をお持ちの方は、検察審査会にご相談ください。相談や審査の申し立てには費用はかかりません。また、秘密は固く守られます。

検察審査会では11人の審査員が、検察官が事件を裁判にかけなかったことが正しかったかどうかの審査を行います。審査員は、選挙権を持っている皆さんの中から「くじ」で選ばれることになっています。

選挙権をお持ちの方は審査員に選ばれることがあるかもしれません。審査員に選ばれたときには、国民の代表としてこの仕事にご協力をお願いします。

▼問い合わせ先

岐阜検察審査会事務局

(岐阜地方裁判所)

☎058-262-5263

村づくり活動支援事業を募集

～応援します!あなたの活動で村を元気に～

村民の皆さんによる創意と工夫にあふれた自主的・主体的な村づくり活動支援事業への支援制度があります。ぜひ、ご利用ください。

▼対象者

3名以上の村民で構成された村づくり、あるいは地域づくりを行う有志団体

▼対象となる事業

- ①生活発展向上につながる活動
- ②地域振興・地域活性化に向けた活動
- ③リサイクル活動やゴミ対策・環境問題に関する運動
- ④郷土の伝統・文化・技術等の継承または取得に関する活動
- ⑤その他、村長が必要と認める活動

▼補助金額

活動事業費の2分の1以内(限度額50万円)

▼募集の締め切り

6月30日(木)

▼交付の決定

締め切り後、村長が任命した審査会において公平な審査を行い、決定の有無を通知

▼問い合わせ先

総務課 環境計画係 ☎6-1311

3月の役場日誌から

- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|------------|----------------|--------------------|-------------|----------|--------------|---------------|-----------------|-------------------|-----------|-----------------|-------------------|---------------|----------|------|------------------|--------------------|-----------|----------|--------|------------------|--------|------------------|----------------|------------------|
| 31 | 30 | 29 | 26 | 25 | 24 | 23 | 22 | 18 | 17 | 15 | 14 | 12 | 11 | 10 | 9 | 7 | 4 | 3 | 2 | 1 | | | | |
| 第3回選挙管理委員会 | 助金現地検査、体育協会理事会 | 第2回議会臨時会、梶市町村振興補助金 | 観光協会役員選出委員会 | 平瀬小学校閉校式 | 伝建審議会、例月出納検査 | 県議会議員選挙職員説明会、 | 立候補予定者説明会、集落座談会 | 社会教育委員会、集落座談会(鳩谷) | 集落座談会(戸島) | 世界遺産関係市町村連絡協議会、 | 体育指導委員会、集落座談会(北部) | 会新規加入者栄養教室開講式 | 白川小学校閉校式 | 工事入札 | 保健推進員学習会、白川村飛まわり | 議員懇談会、小中学校保健安全委員会、 | 議会議決特別委員会 | 第1回議会定例会 | 推進員定例会 | 文化財防火デー火災想定訓練、保健 | 級運営委員会 | 第2回選挙管理委員会、家庭教育学 | 課長会議、子ども会育成委員会 | 村ふれあいゲートボール大会、定例 |

●4月の村民憲章実践目標

公共の施設や道路・河川等、普段利用している所を
みんなで清掃しましょう。

住宅用火災警報器の
設置期限は
平成23年5月31日
までです



乳がん・子宮頸がん検診の実施

▼日時

5月13日(金)

▼開催場所・日時

・平瀬診療所

10時～11時受付

・白川診療所

13時半～14時半受付

▼問い合わせ先

村民課 保健衛生係

☎6-1311

ゲートボール始めませんか

白川村体育協会ゲートボール部では、ゲートボールをやってみたい仲間を大募集しています。

見学・体験練習も大歓迎です。また、年齢は問いませんので、気軽にお問い合わせください。

▼日時

毎日13時半～16時半頃まで

▼場所

ふれあい体育館 ゲートボール場

▼問い合わせ先

教育委員会事務局 生涯教育係

☎6-1311

自衛隊技術幹部等の募集

あなたの技術を、自衛隊で活かしませんか。

海・航空自衛隊では、即戦力となる技術を持った人材を採用するため、理工系だけでなく心理学関連学部卒業生、看護師、電気主任技術者や気象予報士など幅広く募集します。

年齢上限等の条件があるため、詳細についてはお問い合わせください。

▼受付期間

5月6日(金)～5月20日(金)

▼問い合わせ先

自衛隊高山出張所

☎0577-32-3028

義援金を装った 詐欺に注意!!

東北関東大震災の善意に乗じた卑劣な犯罪が発生しています。

▼具体的な事例

- ・有名なボランティア団体を名乗り、電話やFAX等を用い、当該団体の募金口座と異なる口座に義援金を振り込ませようとする。
- ・公的機関とまぎらわしい名称をかたって電話をかけ、「災害支援」をうたい文句に義援金を募集し振り込ませようとする。

▼被害にあわないために

- ・公的機関・団体が、一般家庭等に対して、個別に電話やFAX、訪問等によって義援金等の振り込みを求めることは通常あり得ないので、相手方が告げた機関・団体等に対し、電話帳等で調べた電話番号に電話することによって確認してください。
- ・実在する団体等を名乗って、個別の働きかけがあった場合には、その団体がテレビ・ラジオ・新聞等で公表している口座番号・名義と同一であるか確認するなど、本当にその団体による募金なのか、また信用できる団体なのかを十分に確認してください。

▼不審に思ったら

すぐに振り込んだりせず、警察（#9110又は最寄の警察署等）に通報、相談を!!

▼問い合わせ先

岐阜県警察本部 生活安全総務課

☎058-271-2424

お知

平成23年度の交通事故 巡回相談

県民生活相談センターで実施して
まず交通事故巡回相談を、平成23年
度も実施します。

▼場所

飛騨総合庁舎

▼相談日

月1回(第4水曜日)

▼相談時間

10時～15時

▼相談方法

完全予約制(予約は前日までに)

▼予約先

県民生活相談センター

☎058-277-1001

ニューヨークへ遊学して みませんか

(社)岐阜県青少年育成県民会議では、国際感覚を養うとともに、貴重な経験により青年が大きく成長するよう「青年ニューヨーク遊学支援2011」を実施します。

▼応募資格

岐阜県にお住まい又は通勤・通学されている18歳～30歳の方

*高校生は除く

▼応募締切

5月6日(金)

▼募集人員

2名。また、交付金を1名あたり40万円を上限として交付

▼問い合わせ先

(社)岐阜県青少年育成県民会議(岐阜県庁環境生活部男女参画青少年課内)

☎058-272-1111

(内2429)

予算の姿

単位：億円

一般会計予算 **7,458 億円**

対前年度当初予算比 マイナス 0.6%



行財政改革アクションプランの着実な実施

県では、厳しい財政状況の中、構造的な財源不足を解消するため、22 年度から 24 年度までの行財政改革の具体的なプランを策定し、着実に実行しています。

23 年度は、県事業、補助金の見直しや職員給与の抑制などで歳出を削減する一方、財政調整金を取り崩すなど歳入を確保し、270 億円の財源不足を解消します。

23 年度の取り組み

- 歳出削減 109 億円**
県事業や補助金、公の施設・外郭団体の見直し
- 人件費削減 101 億円**
定員の削減や職員給与の抑制
- 歳入確保 60 億円**
財政調整基金の取り崩しや県有財産の貸付収入など

INFORMATION BOX 情報ボックス INFORMATION BOX

平成 23 年度インターネット
県政モニター

インターネットで県政に関するアンケート (5 回程度) などに協力いただきます。

- ▶ 応募資格 / 次の①～③すべてに該当する方
- ①県内在住で 20 歳以上 ②過去 3 年間モニター未経験
- ③ホームページを閲覧できるパソコンを保有
- ▶ 任期 / 平成 24 年 3 月末まで
- ▶ 応募方法 / 県庁ホームページから申し込み

岐阜県県政モニター

Web 検索

- ▶ 受付期間 / 4 月 1 日 (金) ~ 5 月 10 日 (火)
- ▶ 問 / 広報課 ☎058(272)1118



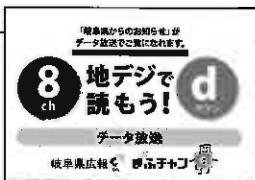
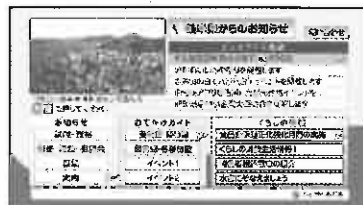
4 月 10 日 (日) は
岐阜県議会議員選挙です
大切な一票を無駄にしないよう、
投票に出かけましょう!

高橋尚子杯
ぎふ清流マラソン
2011.5.15 | SUN |
ハーフマラソンの日
3kmの部

平成 23 年保育士試験

- ▶ 試験日 / [筆記] 8 月 6 日 (土)・7 日 (日)
[実技] 10 月 9 日 (日)
- ▶ 試験場所 / 大垣女子短期大学
- ▶ 受付期間 / 4 月 1 日 (金) ~ 5 月 11 日 (水)
- ▶ 願書配布・申込先・問 / ☎0120(4194)82
(社) 全国保育士養成協議会 保育士試験事務センター
〒171-8536 東京都豊島区高田 3-19-10

自宅のテレビで 県広報!



ぎふチャンの地デジ・データ放送で、
岐阜県および県内全市町村のお知らせやイベント・観光情報などをご覧
いただけます。

岐阜県庁ホームページ



イベント・試験などの情報は、県庁
ホームページの「イベント・お知らせ」
をクリックしてください。

携帯はこちら



特集

平成23年度当初予算および県政運営の基本方針 魅力あふれる「清流の国ぎふ」づくりへ

昨年開催した「全国豊かな海づくり大会」をはじめとして国内外にアピールしてきた「清流の国ぎふ」づくりを本格的に進めていくため、平成23年度は「魅力あふれる『清流の国ぎふ』づくりへ」をテーマとし、「活力ある産業・雇用の創出」「安全・安心な地域づくりと人づくり」「清流の国ぎふの展開」「ぎふ清流国体・ぎふ清流大会の開催準備」の4つの柱を中心に施策を推進し、財政再建の着実な実行と明るい未来づくりに取り組みます。

問 財政課 ☎ 058(272)1130

岐阜県の予算

Web 検索

1 活力ある産業 雇用の創出

中小企業のビジネスモデル転換を支援するとともに、5,400人規模の新たな雇用機会を創出します。観光・交流分野において、国内外への情報発信を強化し、観光客・観光消費額を増加させます。また、農畜産物のブランド化と販売力を強化し、強い農業・攻めの農業を展開します。



“変わる” 中小企業

- 海外のマーケティング拠点づくり
・ 海外販路のパートナーづくり支援 …… 5,920 万円
- ネットビジネスの普及・指導人材の育成 …… 9,650 万円
- 岐阜県発スマートフォンアプリ開発と人材育成など …… 4 億 7,960 万円
- 産学官の連携活動拠点「ぎふ技術革新センター」の運用 …… 3,900 万円
- 学卒未就職者に対する就職支援 …… 4 億 8,532 万円
- 生活から就労までの一貫した個別・継続支援 …… 1 億 3,000 万円

新たな観光・交流の展開

- 新たな旅スタイル「ぎふウェルネス・ツーリズム」の本格展開 …… 2 億 8,441 万円
- 海外誘客活動の推進 …… 2,175 万円

元気な農業・農村づくり

- 農畜産物の付加価値向上のための農業の6次産業化促進 …… 3,351 万円
- 就農相談から岩農定着までの就農サポート活動支援 …… 4,800 万円
- 地域ぐるみの鳥獣被害対策の推進 …… 2 億 9,527 万円

3 「清流の国ぎふ」 の展開

「清流の国ぎふづくり元年」として、きれいな水を生み出す山を守り、美しい川の流れを保ち、豊かな水として海へ送り出す様々な活動を展開します。

清流を守る、活かす、伝える

- 水生生物保全に関する河川類型指定の調査 …… 720 万円
- 農村地域の「豊かな水環境づくり」の推進 …… 3 億 856 万円
- 間伐を中心とした森林整備 …… 22 億 8,812 万円
- 木質バイオマスの利用促進 …… 7,655 万円
- 清流の国ぎふづくり県民大会の開催 …… 300 万円



2 安全・安心な 地域づくりと人づくり

防災体制を強化するとともに、県民の暮らしを支える福祉や地域医療を充実します。また、子育てや教育環境の整備とともに、地域のつながりの再生や、まちづくり支援に取り組みます。

暮らしに安全と安心を

- 7.15 豪雨災害の検証を踏まえた災害対策の推進 …… 10 億 3,355 万円
- 住宅の耐震化への支援 …… 1 億 3,864 万円
- 児童虐待防止対策の充実・強化 …… 2 億 7,755 万円
- 子宮頸がん等ワクチン接種への助成 …… 13 億 1,451 万円
- 認知症疾患医療センターの各圏域への設置 …… 3,095 万円

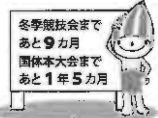


地域と人に活力を

- 地域連携による買い物弱者等支援 …… 3,000 万円
- 一人暮らし高齢者などに対する地域での見守り活動の充実 …… 4 億 7,393 万円
- 子育て家庭が安心して利用できる「子育てタクシー」の導入支援 …… 344 万円
- 障がいのある子どもへの教育の充実 …… 5 億 648 万円
- 少人数学級の中学校1年生への拡大 …… 教員 99 人増

4 ぎふ清流国体・ ぎふ清流大会の開催準備

来年に迫った「ぎふ清流国体・ぎふ清流大会」の成功に向け、会場整備を進めるとともに、ボランティアの募集・養成や競技力の向上など、着実に準備を進めます。これらを通じて、観光、モノづくり、環境など岐阜の魅力を発信し、地域活性化につなげます。



- 運営を支える6,000人規模のボランティアの募集・養成 …… 1,839 万円
- ぎふ清流国体冬季競技会の開催 …… 2 億 438 万円

※数字は、平成23年第1回岐阜県議会定例会に提案された当初予算案をもとに掲載しています。

新入園・入学おめでとう

(敬称略) (保護者)

◆平瀬保育園【6名】

小川 明音 (昌親・由美) 田中 萬里 (千尋・絵里加) 大塚 舜太 (卓哉・真沙代)
 松本 遼太郎 (継太・美穂) 大澤 玲音 (知歩・江美) 坂本 美羽 (貢治・弥生)

◆白川保育園【7名】

野首 ころも (章吾・和代) 山下 虹恋 (茂樹・さゆり) 水上 冬弥 (雅文・さやか)
 鈴木 真央 (智也・久美) 宮部 徠斗 (俊輔・めぐみ) 原 柊斗 (卓也・景子)
 田中 希羅 (栄作・あゆみ)

◆白川小学校【16名】

滝 愛葉 (昌也・麻衣子) 野谷 吏翔 (信二・芽衣子) 今藤 青空 (建二・菜穂子)
 鈴木 諒真 (智也・久美) 木下 楓 (則由紀・加那子) 大塚 泰生 (卓哉・真沙代)
 福地 颯希 (達也・こずい) 山下 咲 (正樹・直美) 南 侑里 (秀彦・砂織)
 吉實 紅 (秀典・理佳) 白木 咲帆 (秀史・朋子) 吉脇 隆正 (豊・壽子)
 松本 万優 (継太・美穂) 江崎 咲太 (浩司・久美子) 石岡 愛理 (弘秋・真由美)
 山岸 陽心 (秀俊・酉子)

◆白川中学校【15名】

新谷 ひな子 (雄一郎・純) 小坂 孝臣 (孝二・久代) 板谷 日和 (本一・真理子)
 大松 実梨 (勝巳・右紀子) 東屋 大貴 (淳・千賀子) 山下 羅生城 (隆生)
 前田 政博 (法俊・博子) 小洞 晴菜 (輝文・久実) 成原 大輔 (伸次・香奈)
 池田 みやび (弘志・明美) 武田 勇太 (ルミ子) 黒木 斗希也 (徹・亜希子)
 中森 萌佳 (真奈美) 阿武里唯那 (悦司・万里子) 石岡 恵太 (弘秋・真由美)

教職員の異動 (敬称略)

※平瀬小・白川小から新白川小・白川中への異動については、掲載していません

●お世話になりました ()は転任先

〈平瀬小〉森 満里子 (神岡小) 野島 友紀 (桜尾小)
 〈白川小〉中川 善夫 (宮 小) 溝上 正雄 (清見小) 西野 範美 (日枝中) 長谷川順子 (新宮小)
 嶋田 佑樹 (八幡中) 柏木 朋子 (三枝小) 山形百合子 (三枝小)
 〈白川中〉上野 博隆 (宮 中) 松葉 陽子 (松倉中) 半田 智樹 (中島中) 野島 将也 (長良中)
 【常勤講師】石原 里美 (中山中)
 〈社会教育主事〉菱田 正紀 (岐阜県教育委員会 社会教育文化課)

●よろしくお願ひします ()は前任地

〈白川小〉上出 和世 (丹生川小) 近藤 真弘 (東長良中) 山口 隆幸 (土岐津中)
 【常勤講師】三輪 崇太 秋田恵理子
 〈白川中〉石原 嘉和 (飛騨教育事務所) 山岸 秀俊 (南ヶ丘中) ハツ崎真弓 (丹生川小)
 【常勤講師】平池 直哉 (笠松中)

東北関東大震災の被災地へ向け、 白川村からも救援物資を支援

○備蓄庫から

村の備蓄庫に保管している食糧等を、3月14日(月)福島県南相馬市へ送りました。救援物資の輸送については、高山市を拠点に活動するNPO法人「サポートコミュニティ飛騨」が行いました。送った品目は右記のとおりです。

村の備蓄品については、発注し、順次整備をすすめています。



品名	箱数	総個数
アルファ米(五目ごはん)	6	300
アルファ米(わかめごはん)	6	300
クラッカー	2	420
保存用パン	17	408
水もどり餅(あんご餅)	2	100
水もどり餅(あべ川餅)	3	150
水もどり餅(いそべ餅)	3	150
フリーズドライスープ(味噌汁)	2	400
ポリタンク		7
カンパン		2,200
合計	41	4,435

○救援物資

3月24日(木)～26日(土)村民の皆さんから救援物資を募ったところ、多くの食料品や生活用品が届けられました。27日(日)役場から高山市へ運び、高山市・飛騨市・下呂市の住民から集まった物資と併せ、約30トン(大型トラック2台分)の救援物資を、岩手県滝沢村の県災害対策本部へ送りました。送った品目は右記のとおりです。

品名	箱数	総個数
カップ麺	11	347
インスタント麺	1	96
バスタオル	8	317
タオル	16	2,676
タオルケット	6	53
使い捨てカイロ	7	2,410
ウエットティッシュ	3	79
石けん	17	1,294
子ども用紙おむつ	7	53
生理用品	2	98
子ども用おしりふき	3	114
大人用おむつ	1	3
合計	82	7,540



○義援金

3月14日(月)から、役場や診療所、また、総合案内であいの館に義援金の募金箱を設置しています。区長会をはじめ、村内の小中学生や企業、また、個人や各種団体からのご協力により、4月1日(金)現在、2,083,036円が寄せられました。

義援金は、4月1日(金)日本赤十字社岐阜県支部に送金されました。今後も引き続き、義援金を募集しております。皆さんの温かいご支援をよろしくお願いいたします。



白川小6年生を中心に義援金を募り、児童たちから寄託されました



白川中2年生を中心に義援金を募り、生徒たちから寄託されました



区長会を通じて、村民の皆さんから寄託されました

○避難者の受入れについて

村では、震災で住宅を失うなどした被災者に対し、無償(光熱費のみ有料)で避難住宅を提供しています。また、民間や個人の方から、避難者のための住宅の無償提供について、申し出をいただいております。ご親戚やご知人など、村に避難を希望される方がみえましたら、お問い合わせください。

- 問い合わせ先 (義援金について) 村民課 村民福祉係
(避難者の受入れについて) 総務課 環境計画係 TEL 6-1311

日 曜	事 項	日 曜	事 項
21 木		1 日	
22 金	リサイクルハウス受入日	2 月	
23 土		3 火	憲法記念日
24 日	白川村長 白川村議会議員選挙	4 水	みどりの日
25 月	村税等納期限	5 木	こどもの日
26 火		6 金	リサイクルハウス受入日
27 水		7 土	資源リサイクル(白小)
28 木	学費口座振替日 リサイクルハウス受入日	8 日	リサイクルハウス受入日
29 金	村内一斉美化運動 昭和の日	9 月	
30 土		10 火	
		11 水	春の全国交通安全教室(～20日)
		12 木	
		13 金	乳がん・子宮頸がん検診 区長宛文書発送 リサイクルハウス受入日

新職員の紹介



手塚 正太さん
(総務課 高山消防署へ派遣)

住 所：荻 町
 趣 味：スキー、野球
 ひとこと：4月から、消防署職員として勤務することになりました。白川村の方々力になれるよう、知識・技術を身につけ、一生懸命がんばります。



清水 千明さん
(総務課)

住 所：荻 町
 趣 味：料理、音楽鑑賞
 ひとこと：高校・大学を村外で過ごし、白川村に帰ってきました。日々を大切に、住みよい村づくりのため、がんばります。気軽に話しかけてくださいね。



豊田 留実さん
(村民課 保健師)

住 所：木 谷
 趣 味：スノーボード、読書
 ひとこと：愛知県一宮市からきました。至らない点が多くあるとは思いますが、精一杯がんばります。よろしくお願ひします。

※3月は、誕生・結婚・おくやみがありませんでした。

むらの人口

男 870 人 (- 7)
 女 920 人 (- 8)
 計 1,790 人 (-15)
 世帯数 574世帯 (- 9)
 高齢化率 28.2%
 4月1日現在、()内は前月比

9月30日(金)まで、募金箱を設置しています。引き続き皆さんのご協力をお願いします。



乳幼児学級開級式



今年も色々な行事を企画し、親子で楽しみました。また、親同士の仲間づくりの場にもなりました。